

令和2年度シラバス(国語)

学番21 新潟県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	国語総合	単位数	5単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社 高等学校改訂版「標準国語総合」				
副教材等	京都書房「新国語総合ガイド」 桐原書店「四訂新版 新しい古典文法」 尚文出版「必携新明説漢文」 いいいな書店「現代語練習帳 ことのは」				

1 学習目標

国語を正しく理解し、読む・聞く・書く・表現する能力を育成し、また伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、ディベート出来る人材を育む。言語感覚を磨き、心情を豊かにし、言語文化に対し興味を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ①文章の内容を叙述に即して的確に読み取り要約し、必要に応じて「国語総合ガイド」を利用し詳述をしたりすること。
- ②文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
- ③目的や場面に応じて、適切な表現の仕方を学び利用し、効果的に話したり的確に聞き取ったりして試みる。

3 指導計画

月	単元	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
			課題テスト(テスト返却も含む)	2	
4月	随想	スイッチをOFFにすることから始める 林ナツミ	・文章の流れをつかみ、筆者の関心や問題意識を理解する。 ・自らの「学び」について考える契機とし、これからの高校生活への抱負を文章にする。	6	定期考査 授業の取り組み
	古文入門説話	児のそら寝 『宇治拾遺物語』	・歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できるようになる。 ・古語辞典の使い方に慣れるとともに古語と現代語の違いを理解する。 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・品詞について確認し、動詞の活用(正格活用)について理解し定着を図る。	12	定期考査 授業の取り組み
5月	漢文入門	漢文の学習 訓読に親しむ(一)・(二)	・訓点の用法を理解し、正しく音読できるようにする。 ・漢文の基本構造を理解する。	6	定期考査 授業の取り組み
	1学期中間考査(テスト返却も含む)			2	
6月	小説(一)	羅生門 芥川龍之介	・下人の心情の変化を老婆との関わりから的確に読み取る。 ・下人や老婆の考えを読み取り、エゴイズムについて考察する。 ・小説表現の豊かさを学び、読書生活に反映させる。 ・羅生門の主題について自分なりに考え、感想文に書く。	16	定期考査 授業の取り組み
	古文物語	なよ竹のかぐや姫 『竹取物語』	・辞書を引きながら、部分的に現代語訳ができるようにする。 ・動詞の活用(変格活用)について理解し、定着を図る。 ・物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	10	定期考査 授業の取り組み
1学期末考査(テスト返却も含む)			2		
7月	漢文入門	訓読に親しむ(三)	・再読文字の用法について理解し、定着を図る。 ・正しく音読し、現代語訳できるようにする。	6	定期考査 授業の取り組み
	故事成語	蛇足 『戦国策』	・正しく音読し、脚注を参照しながら現代語訳できるようにする。 ・漢和辞典の使い方に慣れ、現代語訳に役立てられるようにする。 ・故事成語のもとになった話を理解するとともに、現在の用法を習得する。	6	定期考査 授業の取り組み
9月	評論(一)	水の東西 山崎正和	・接続詞、指示語に注目するなどの評論の読解方法を習得する。 ・二項対立的な論理展開に注意しながら、日本と西欧の水に対する感じ方の違いを読み取る。 ・西洋文化と対比することで見えてくる日本文化の特徴について、各自やグループで考察する。	10	定期考査 授業の取り組み
	古文説話	頭雅の言ひ間違ひ 『十訓抄』	・正しく音読し、現代語訳できるようにする。 ・形容詞・形容動詞について理解し、定着を図る。 ・話のおもしろさについて話し合い、理解を深める。	12	定期考査 授業の取り組み
2学期中間考査(テスト返却も含む)			2		
10月	古文随筆	仁和寺にある法師 『徒然草』	・正しく音読し、現代語訳できるようにする。 ・主な助動詞の用法について考える。 ・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。	10	定期考査 授業の取り組み
11月	評論(二)	人はなぜ仕事をするのか 内田 樹	・段落構成を理解しながら論理的思考力を養う。 ・口語的な表現の効果について考える。 ・仕事をすることの意味について主体的に考え、話し合う。	10	定期考査 授業の取り組み
	漢文史伝	鶏口牛後 『十八史略』	・比較的に長い、平易な文章の漢文に慣れ、正確に訓読できるようにする。 ・漢文の語彙や句形に注意して、正しく現代語訳できるようにする。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。	10	定期考査 授業の取り組み
2学期末考査(テスト返却も含む)			2		
12月	古文物語	東下り 『伊勢物語』	・歌物語における和歌の役割を理解し、和歌にこめられた心情をとらえる ・和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 ・助動詞について理解し、口語訳に生かす。	14	定期考査 授業の取り組み
1月	評論(三)	イースター島になぜ森がないのか 鷲谷いづみ	・評論の読解方法を習得する。 ・生態系や自然破壊について認識を深める。 ・人類の存続という問題を自分の問題として考える姿勢を養う。	10	定期考査 授業の取り組み
2月	古文日記	門出 『土佐日記』	・登場人物の行動と場面を整理する。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。 ・当時の風習について知り、文章の表現上の特色を理解する。	14	定期考査 授業の取り組み
	史伝	先従陳始 『十八史略』	・比較的に長い漢文に慣れ、正確に訓読できるようにする。 ・漢文の語彙や句形に注意して、正しく現代語訳できるようにする。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。	10	定期考査 授業の取り組み
学年末考査(テスト返却も含む)			2		
3月	小説(二)	卒業ホームラン 重松清	・現代小説の読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。	8	授業の取り組み 課題考査
	漢詩	漢詩の鑑賞	・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	8	授業の取り組み 課題考査

4 課題・提出物等

「ことのは」は語彙力を養成するための家庭学習用の課題です。定期考査や授業内小テストで定着度をみます。また、長期課題には別冊の課題帳を家庭学習用の課題や読書感想文などを課題とします。そのほか、授業で学習したことの定着を図るためのプリントも随時出され、全て課題として提出することが必要です。

5 評価規準と評価方法

評価は次の5観点から行います。				
(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断)		(③技能・表現)	(④知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語への関心を深め、国語を尊重し、進んで表現し読書しようとしている。	自らの意見をまとめ、目的や場面に応じて適切に話したり聞き取ったりしている。	筆者の意見や自らの意見をまとめ、目的に応じて適切に文章を書いている。	論理的な文章について、論理展開や要旨を的確に捉えている。また文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確に捉え、表現を味わっている。	表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語意、漢字などを理解している。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)・提出課題(期限内、内容など)・定期考査、課題考査などから総合的に評価します。				

6 担当者からの一言

授業は生徒の皆さんが参加することで成立します。皆さんが積極的に発言したり、クラスメイトと討論したり、大きな声で音読したりして意欲的に取り組むことを期待しています。そして、高校の学習に必要な予習→授業→復習のサイクルを早く確立させ、確かな学力をつけていきましょう。